

■ 併催事業 会場 会議棟1F 大ホール

「地方創生に向けたまちづくりフォーラム ～ライブ・ドリアド in 防災産業展～」

日時 3月15日(日) 14:00～15:30 定員 300名
主催 (一社)創造再生研究所、日刊工業新聞社

【概要】復興からの地方創生に向けたまちづくり、人と自然の共生、復興への取り組みについて紹介します。
また、ドリアドメンバーによる復興をテーマにした管弦楽の演奏も行います。

パネリスト コーディネーター



造国 隆之 氏
造国、東京都市大学 教授
浦井 雅之 氏



ジャーナリスト
三神 万里子 氏



農林水産省 関東農政局長
末松 広行 氏

他、調整中

■ 復興をテーマにした管弦楽の演奏も行います 出演:ドリアドメンバー

■ 特別企画

特別協力：陸上自衛隊

【展示概要】 会場 屋外展示場
大規模災害をはじめとする各種災害の発生時には、地方公共団体などと連携・協力し、被災者や遭難した船舶・航空機の捜索・救助、水防、医療、防疫、給水、人員・物資の輸送といった様々な活動を行っています。今回は実際に東日本大震災で使用した装備品を展示するとともに、当時の活動状況や海外における災害救助活動を写真やビデオで紹介しします。また、被災された方々を励ました音楽隊による音楽演奏も行います。



【軽装甲機動車 (LAV)】 【観測ヘリコプター (OH-6D)】 (写真提供：陸上自衛隊)

ロボットゾーン

【展示概要】
災害現場で活躍する最新のロボットが展示されます。情報収集を行う地上走行ロボット、梁視認点検のための球殻型マルチコプター、遠隔操作ロボット等、一部実演も予定します。

(Quince 写真提供：東北大学田所研究室)



【津波・大規模風水害対策車両】 (写真提供：消防庁)

植物工場ゾーン

【展示概要】
東北地域の農業復興への一助として期待される「植物工場・スマートアグリ」の企画展示を実施します。環境制御により安心・安全かつ高付加価値の農業を実現する製品・技術をぜひ会場でご覧ください。

【2013年会場風景】



同時開催!! 東北復興ソーシャルビジネス・ギャザリング
～地域から未来の東北・日本を生み出す～
展示会「復興アクション応援フェア」 復興市「いいもの・うまいもの復興市」
被災地復興の現状の紹介ほか、復興関連商品・サービスが多数出展予定!! 詳しくはこちら <http://socialbusiness-net.com/sbg/>
会 期:2015年 3月 15日(日) 10:00～17:00
会 場:夢メッセみやぎ 西館展示場／屋外／大会議室 入場料:無料
主 催:(一社)ソーシャルビジネス・ネットワーク 特別協力:日刊工業新聞社
TEL:03-6820-6300 FAX:03-5775-7671

「防災産業シンポジウム ～防災産業の発展と防災力向上に向けて(仮)～」 同時通訳(日・英)

日時 3月16日(月) 第一部 10:30～12:00 第二部 13:30～16:00 定員 300名
主催 内閣府、宮城県、日刊工業新聞社 共催 モノづくり日本会議

【概要】午前・午後の二部構成とし、午前は防災展の出展企業から非常時だけでなく平時も有用な技術や各社の取り組みを紹介し、午後は防災産業の発展と防災力向上に向けて、我が国が取り組むべき課題等について発信します。詳細等につきましては本展公式HPにてご案内いたします。

プログラム

第一部 出展企業による講演 (トヨタ自動車、富士通、日本通運)

第二部 基調講演 (内閣府)
講演及びパネル討論(本田技研工業、鹿島建設、日本電信電話 他)

※発表内容は予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

■ 出展企業ワークショップ 会場 展示ホール内

■ ワークショップ会場1

発表時間	会社名	発表者	テーマ	概要
1-A 11:30～12:15	TOA	営業戦略室 営業開発課 課長 凍田 裕一氏	あなたの街の屋外防災放送。放送内容が理解できますか?	「なぜ、聞き取りにくいと言われるのか」、音響機器メーカーの立場から屋外拡声の向上について提案します。
1-B 12:30～13:15	石巻専修大学	理工学部 教授 山本 憲一氏	FRS 浮き輪や防寒着としても使用できる多機能シートカバー	FRSを開発した動機・試作・評価・改良点について報告します。特にその効用については動画で説明します。
1-C 13:30～14:15	オオハシ	プラスチック事業部 事業部長 塩野 武男氏	災害対策と仮設道路用プラスチック製敷板「リピーボード」	大災害が発生すると、まず道路の整備が要求されます。敷板「リピーボード」を用いた復旧対策を紹介します。
1-D 14:30～15:15	古河電気工業	アクセスネットワーク部 技術グループ グループリーダー 山下 鉄広氏	光ファイバセンシング製品のご紹介	光ファイバネットワークを活用して、防災、減災のための情報を収集するセンシング製品について紹介しします。
1-E 15:30～16:15	日本災害対策機構	人材コンサルタント・総合事業 子会アドバイザー 笹田 学氏 朝レイオス 代表取締役 北田 富一氏	子供達が繋ぐ未来の防災教育 災害時に人の命を守る 照明制御とは	日頃の避難訓練により、約3000名の子供達が命を守った。この釜石の奇跡を次世代に繋ぎたい。いつやってくるかわからない災害、その活動に基くではない一部一将来を保証しない照明制御の重要性について説明します。

発表時間	会社名	発表者	テーマ	概要
1-F 11:30～12:15	日立製作所	ティアフェンシステム社 マーケティング本部 事業開発センタ 主任技師 吉川 健多郎氏	安心・安全な社会を支える 日立の防災ソリューションの紹介	安心・安全な社会に貢献する ICT を活用した防災ソリューション及びその活用事例を紹介しします。
1-G 12:30～13:15	エネ・タント	専務取締役 赤坂 大輔氏	小型ソーラー&蓄電セットで防災。地元福島での経験を活かして。	従来品の約 1/3 の費用で、ベランダや庭先に簡単設置。電気の防災+普段使い(電気代削減)の新システムを紹介しします。
1-H 13:30～14:15	倉元製作所	MBBプロジェクト プロジェクトリーダー 阿部 史氏	被災企業倉元製作所が創り出す防災用品について	大震災を経験した私達が被災者目線、モノづくりのプロとして開発した防災用品について講演しします。
1-I 14:30～15:15	信防エディックス	営業部 第1課 下村 進氏	早めの準備と避難が、災害から命を守る。	簡易型避難用室内テント「ひなんルーム」、ホームシェルター「安心ドーム」の展示を説明しします。
1-J 15:30～16:15	ウイズダム	代表取締役 福島 一郎氏	全天候型ソーラー・サイン『光彩』の拡販について	日射不要・動作時間:15 時間以上、という特長を持つ当製品の今後の事業展開を説明しします。

発表時間	会社名	発表者	テーマ	概要
1-K 11:30～12:15	横田靑青興業	代表取締役 横田 勝好氏	タンクローリー直結型緊急時燃料ポンプ「どこでもスタンド」	タンクローリーに直結して燃料を給油する燃料計量ポンプのご紹介。開発の経緯や特徴について発表しします。
1-L 12:30～13:15	十川ゴム	中央大学 総合政策学部 教授 平野 廣和氏	給水タンクを地震から守る浮体式波動抑制装置の開発	地震時に生じるスロッシングやバランシング現象による給水タンクの被害を防ぐ制振装置を紹介しします。
1-M 13:30～14:15	パシフィックコンサルタンツ	都市・環境事業本部 総合プロジェクト部 坂井 健一氏	相互バックアップシティの実現に向けて	東日本大震災の教訓を活かした、持続可能で魅力あるまちづくりを実現するソリューションをご提案しします。
1-N 14:30～15:15	フジタ	建設部土木エンジニアリングセンター 技術企画部 担当課長 野末 晃氏 技術センター土木研究部 主幹コンストラクツ 木村 健一氏	遠隔操縦ロボット(ロボQ) 低放射化コンクリート	ロボットで建設機械を遠隔操縦する技術を紹介しします。放射線を遮蔽するコンクリートに放射能を蓄積させない技術を紹介しします。
1-O 15:30～16:15	日本災害対策機構	理事長 星野 克美氏 専務理事 星加 直孝氏	日本の防災未来設計 コンテナ地域防災の将来計画	日本の防災現状を踏まえ未来防災の取り組みを提唱しします。地域経済を活性化させ備えるコンテナ防災を提案しします。

「スマートコミュニティ実現支援フォーラム in 仙台 ～東北の未来に向けたまちづくり～」

日時 3月17日(火) 13:00～16:00 定員 300名
主催 日刊工業新聞社、日本能率協会コンサルティング 共催 東北経済産業局

【概要】東北地域で推進されているスマートコミュニティ導入事例を紹介し、その期待や見えてきた課題、自治体と民間企業のスムーズな連携の重要性などを訴求しします。

プログラム

■ 開会挨拶 東北経済産業局
■ 基調講演 「東北地域にスマートコミュニティをつくる」 ～地域熱需要の分散を考慮したエネルギーシステムのデザイン～
講師 東北大学大学院工学研究科 教授 中田 俊彦 氏

■ 東北地域で進む、スマコミ事業化事例
企業発表① スマートシティ企画(株) (宮城県 気仙沼市)
企業発表② トヨタ自動車(株) (宮城県 大衡村)
■ パネルディスカッション 「東北の未来に向けたまちづくり」 ～スマコミ導入促進事業地域から見えてきた期待と課題～
パネラー ・宮古市 ・北上市 ・石巻市 ・津若松市

※本フォーラム終了後、交流会を開催します。詳しくは本展HPをご覧ください。

■ ワークショップ会場2

発表時間	会社名	発表者	テーマ	概要
2-A 11:30～12:15	赤松電気	取締役 会長 赤松 重秀氏	停電時切替システム(エレクビース)	災害、工事、計画停電などで停電になった際、外部電源を使って建物へ電気を安全に給電するシステムを紹介しします。
2-B 12:30～13:15	シーエスデー	営業企画室 シニアマネージャー 加藤 俊氏	災害時の停電対策、LPガス発電機を用いた全自動緊急電源	停電時に電圧低下を自動感知し、LP ガス発電機を立ち上げ商用電源と切り替え、復電すると元に戻す仕組みを紹介しします。
2-C 13:30～14:15	ブローブル企画	御東京医療コンサルティング 代表取締役社長 尊田 京子氏	女性帰宅困難者の安心・安全確保 -具体的事例とその方法-	女性の帰宅困難者が、安心・安全を確保しつつ帰宅する方法について、具体的な事例や方法を紹介しします。
2-D 14:30～15:15	広島大学	工学研究院 社会基盤環境工学専攻 助教 有尾 一郎氏	わずか10分で架けられる緊急展開橋、モバイルブリッジTM	災害時の迅速なインフラ復旧や被災者支援のために、橋のレスキュー「モバイルブリッジ」を産学共同開発しました。開発の経緯について説明しします。
2-E 15:30～16:15	シーエスデー	営業企画室 担当 満本 祐太氏	電磁波レーダを活用した、鉄筋探索及びコンクリートの劣化診断	電磁波レーダから得られたデータを解析し、誰でも正確に鉄筋の位置とクラックを検出できる技術を紹介しします。

発表時間	会社名	発表者	テーマ	概要
2-F 11:30～12:15	横田靑青興業	代表取締役 横田 勝好氏	タンクローリー直結型緊急時燃料ポンプ「どこでもスタンド」	タンクローリーに直結して燃料を給油する燃料計量ポンプのご紹介。開発の経緯や特徴について発表しします。
2-G 12:30～13:15	NTTグループ	日本電信電話(株) 研究企画部門 チーフプロデューサー 後藤 達也氏	NTTグループの防災・減災ソリューションの展開	災害に強くしなやかな社会を目指す NTT グループにおける防災・減災への取り組みを紹介しします。
2-H 13:30～14:15	日立造船	機械・インフラ本部 防災ビジネスユニット長 福本 和弘氏	安全・安心な社会作りに貢献する日立造船の防災ソリューション	無動力で操作不要。自立するフラップゲート式防溺壁／リアルタイムで沖合津波を観測するGPS 海洋ブイを紹介しします。
2-I 14:30～15:15	富士電機	スマートコミュニティ 総合技術部 部長 増淵 正裕氏	環境 - 防災に配慮したスマートコミュニティ	地域に賦存する再生可能エネルギー(分散型エネルギー)を核に、地産地消、セキュリティ強化、効率的運用を紹介しします。
2-J 15:30～16:15	構造計画研究所	エンジニアリング営業部 副部長 中村 仁氏	3次元免震をはじめとする免制振建物の当社構造設計実績のご紹介	世界で初めて3次元免震装置を実装した「知神館」をはじめ、免制振建物の構造設計実績等を紹介しします。

発表時間	会社名	発表者	テーマ	概要
2-K 11:30～12:15	日立造船	機械・インフラ本部 防災ビジネスユニット長 福本 和弘氏	安全・安心な社会作りに貢献する日立造船の防災ソリューション	無動力で操作不要。自立するフラップゲート式防溺壁／リアルタイムで沖合津波を観測するGPS 海洋ブイを紹介しします。
2-L 12:30～13:15	宮城県地域復興再生企業組合	㈱コアテック 専務取締役 相馬 定廣氏	災害時および平常時ににおける衛星(IPSTAR)の活用方法	衛星ブロードバンド回線のIPSTAR デモ機による、災害時に有効な衛星回線を使用したIP電話、映像配信などを提案しします。

植物工場セミナー			
発表時間	会社・団体名	発表者	テーマ
2-O 15:30～16:00	経済産業省東北経済産業局	産業部経営支援課 新事業促進室 田中 祐正氏	経済産業省の植物工場関連施策
2-P 16:10～16:40	パナソニック(株) A V C ネットワークス社	アグリ事業推進室 参事 松葉 正樹氏	補助金不要で黒字化! 世界初...歩留まり95%の人工光型植物工場